

競 技 注 意 事 項

1. 規則について

本大会の競技は、2024年日本陸上競技連盟規則と本大会要項を適用する。

2. 招集について

① 競技者は定められた時間内（タイムテーブル参照）に召集所で競技者係による召集を受けること。

② 招集場所は北ゲート出口付近（100mスタート地点）とする。

③ 所定の時間に遅れないようにし、点呼は必ず本人が受ける事、遅れた者の出場は認めない。

3. アスリートビブス（ナンバーカード）は主催者で用意した物を、そのままの大きさをユニフォームの背と胸にしっかりと固定すること。但し跳躍競技については、胸、背のどちらか片方でもよい。走幅跳は前面が望ましい。トラック種目は写真判定装置を使用するため腰ナンバーカードを付けリレーはアンカーのみとする。

4. 走路順、試技順について

① プログラム記載順とする。

5. 競技用具について

① 競技用具で、棒高跳び用のポール以外は、すべて主催者が用意した物だけを使用する。

② リレーに使用するマーク用テープはチーム名記入のものを用意すること。

6. フィールド競技について

走高跳は次の高さより競技を開始する。中学男子（1m35）中学女子（1m15）から開始とし、男子は（1m65）女子は（1m45）までは5cmそれ以降は3cmずつ上げる。

走幅跳、砲丸投の競技は一人3回の試技とする。

7. リレー競技について

リレーに出場するチームは**競技開始 90 分前までにオーダー用紙**を競技者係に提出すること。提出完了時刻を超えた場合は、当該種目を棄権したものとして処理する。

8. その他

① 競技場は全天候舗装であるのでスパイクのピンは9mm以下を使用する。

② レーンを使用する競技で棄権があった場合は、そのレーンを空けて競技を行う。

③ 選手の変更は認めない。

④ 競技中に発生した傷害、疾病については応急処置のみ本部にて行うが以後の処置は各自で行う。

⑤ **貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に留意すること。**

⑥ スタートの合図はイングリッシュコマンド。不正スタートをした競技者は失格とする。

中学生は都中体連申し合わせ事項を適用する。

⑦ 入場は北門に整列（2名）入場する。2Fコミュニティデッキも同様とする。

⑧ **ごみ類は必ず持ち帰り、競技場やその周辺の美化に努めること。**

⑨ 制限された場所への立入りを禁止する。

⑩ 引率顧問の打合せを9時に中央入口前にて行う。

※ 記録証の配布について競技者全員に記録証を配布する。

※ 各種目3位までの入賞者に賞状を授与する